

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015303 - 0001

作業 主 管 人 欄	保管希望日時	2018年10月31日		(水)	20:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F2 R/B内干渉物撤去(仮称)								
	発生場所	2号機 R/B 1FL					2018/10/31	2018/10/31		
	作業主管G	燃料調査グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH、α	管理番号	223、022、033		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	金属ガラ(建屋内残置物)	B	01	W	A	2 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	10 mSv/h
2	不燃物その他(建屋内残置物)	B	10	W	A	2 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	50 mSv/h
3	紙・ウエス類(キムタオル)	A	01	W	A	0.5 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	10 mSv/h
4	プラ・ポリ(装備類)	A	02	W	A	1 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	1 mSv/h
5	ゴム類(ゴム手)	C	01	W	A	0.5 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	10 mSv/h

注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。
α 線: 可燃物・不燃物・難燃物: 100cpm、コンテナNo. ZK-01703

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	10	—	0163
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年10月31日		20:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		HS	F1-HS-079
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h		固体庫7、8棟	2018/10/31 10:03	6 m ³		2018ZK-01703	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

保管物は、全て6m3コンテナ(2018ZK-01703)に収納した。

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥; W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015303 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月31日		(水)	20:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F2 R/B内干渉物撤去(仮称)									
	発生場所	2号機 R/B 1FL					2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31		
	作業主管G	燃料調査グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH、α	管理番号	223、022、033			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	金属ガラ(建屋内残置物)	B	01	W	A	2 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	5 mSv/h
	2	難燃シート類	C	02	W	A	0.5 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	1 mSv/h
	3	紙・ウエス類(キムタオル)	A	01	W	A	1 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	10 mSv/h
	4	プラ・ポリ(装備類)	A	02	W	A	2 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	1 mSv/h
	5	ゴム類(ゴム手)	C	01	W	A	0.5 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	10 mSv/h
メ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 α 線: 可燃物・不燃物・難燃物: 100cpm、コンテナNo. ZK-01702										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	10	—	0164
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年10月31日		20:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		HS	F1-HS-079
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ	0.01 mSv/h	0.8 mSv/h		固体庫7、8棟	2018/10/31 18:26	6 m ³		2018ZK-01702	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ	保管物は、全て6m3コンテナ(2018ZK-01702)に収納した。											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015303 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月31日		(水)	20:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F2 R/B内干渉物撤去(仮称)									
	発生場所	2号機 R/B 1FL					2018/10/31	2018/10/31			
	作業主管G	燃料調査グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH、α	管理番号	223、022、033			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	金属ガラ(建屋内残置物)	B	01	W	A	1 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	10 mSv/h
	2	不燃物その他(建屋内残置物)	B	10	W	A	1 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	800 mSv/h
	3	紙・ウエス類(キムタオル)	A	01	W	A	1 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	10 mSv/h
	4	プラ・ポリ(装備類)	A	02	W	A	2 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	1 mSv/h
	5	ゴム類(ゴム手)	C	01	W	A	1 m ²	0.1 mSv/h	1 mSv/h	β α 有	10 mSv/h
メ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 α 線: 可燃物・不燃物・難燃物: 100cpm、コンテナNo. ZK-01706、β + γ: 800→遮へい後: 2.0mSv/h										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	10	—	0165
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年10月31日		20:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年10月31日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		HS	F1-HS-079
2			
3			
4			

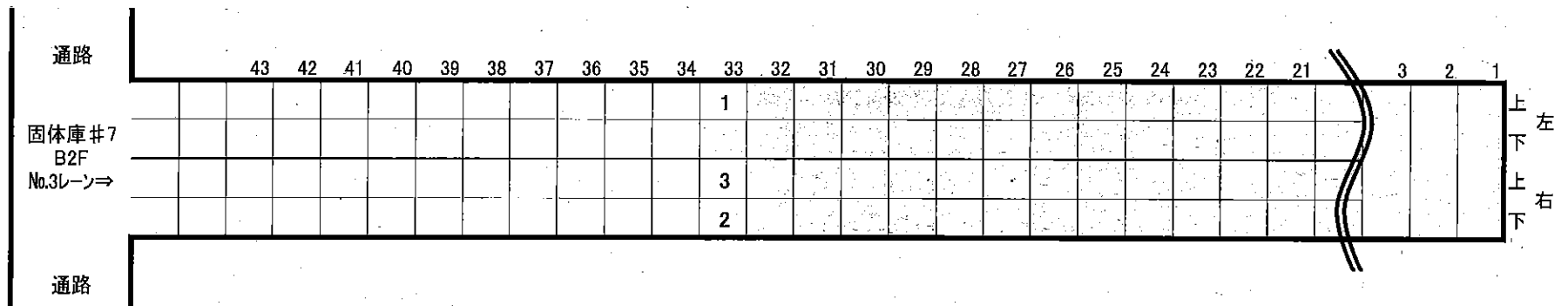
保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ	0.01	mSv/h	0.05	mSv/h			固体庫7, 8棟	2018/10/31 19:38	6 m ³		2018ZK-01706	1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載 保管物は、全て6m3コンテナ(2018ZK-01706)に収納した。														

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

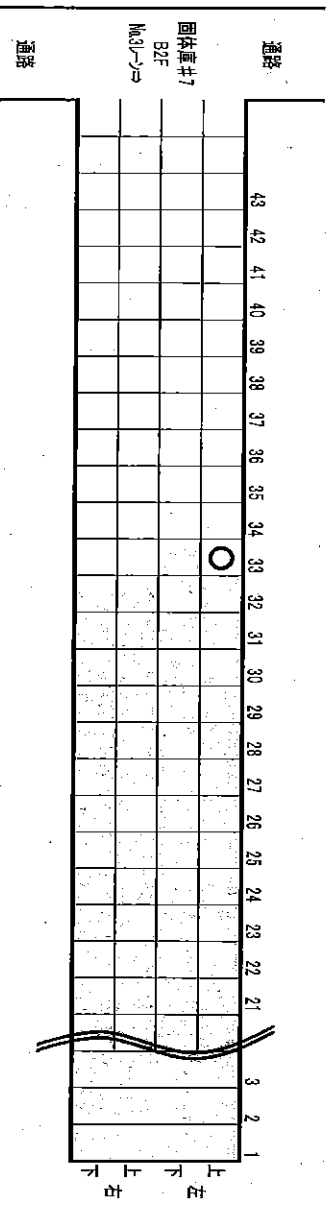
2018年10月31日(水) 固体庫内コンテナ総括表

	運搬ID	コンテナ番号	解体場所	現場サーベイ時線量	現場サーベイ時周辺線量			表面線量率	重量	配置場所	備考
				mSv/h	mSv/h			mSv/h	t		
1	4770	2018ZK-01702	2号機R/B	-	-	-	-	0.80	1.70	7-3-33 -左上	可燃・不燃・難燃
2	4771	2018ZK-01703	2号機R/B	-	-	-	-	0.02	2.70	7-3-33 -右下	可燃・不燃・難燃
3	4772	2018ZK-01706	2号機R/B	-	-	-	-	0.05	2.10	7-3-33 -右上	可燃・不燃・難燃
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											

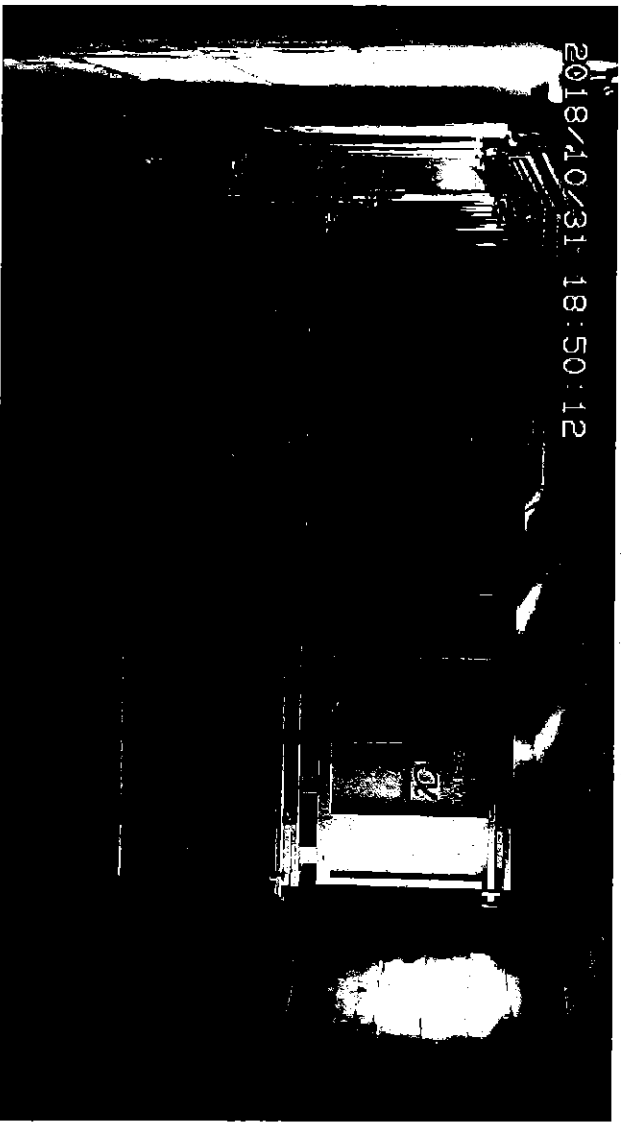


固体庫内コンテナ配置表

一時保管日時	2018年10月31日(水)	
運搬ID	4770	備考
コンテナ番号	2018ZK-01702	可燃・不燃・難燃
解体場所	2号機R/B	α汚染有
現場サーベイ時線量	- mSv/h	
現場サーベイ時周辺線量	- mSv/h	
	- mSv/h	
	- mSv/h	
表面線量率	0.80 mSv/h	
重量	1.70 t	
配置場所	7-3-33 -左上	

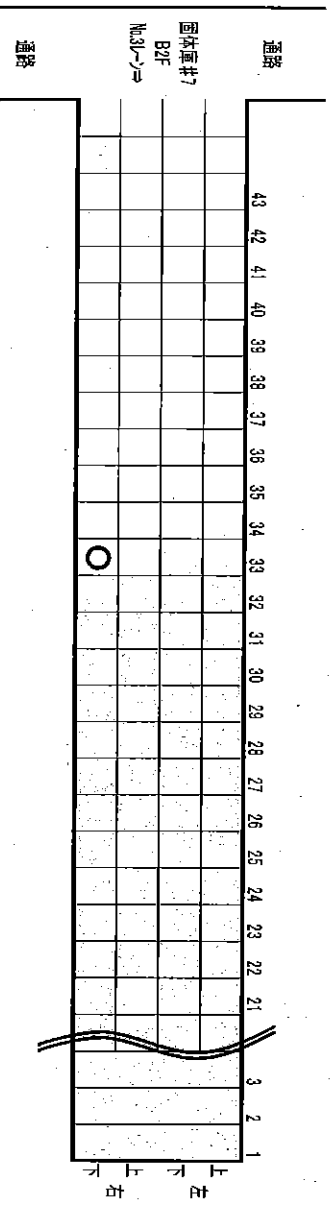


写真

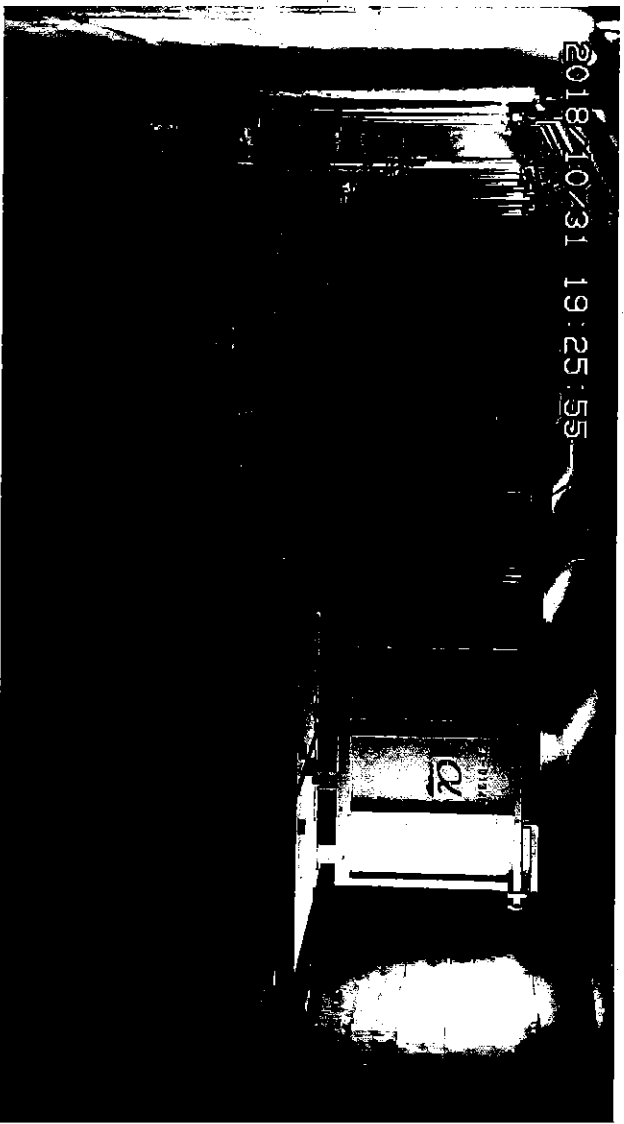


固体庫内コンテナ配置表

一時保管日時	2018年10月31日(水)	
運搬ID	4771	備考
コンテナ番号	2018ZK-01703	可燃・不燃・難燃
解体場所	2号機R/B	α汚染有
現場サーベイ時線量	- mSv/h	
	- mSv/h	
現場サーベイ時周辺線量	- mSv/h	
表面線量率	0.02 mSv/h	
重量	2.70 t	
配置場所	7-3-33 -右下	

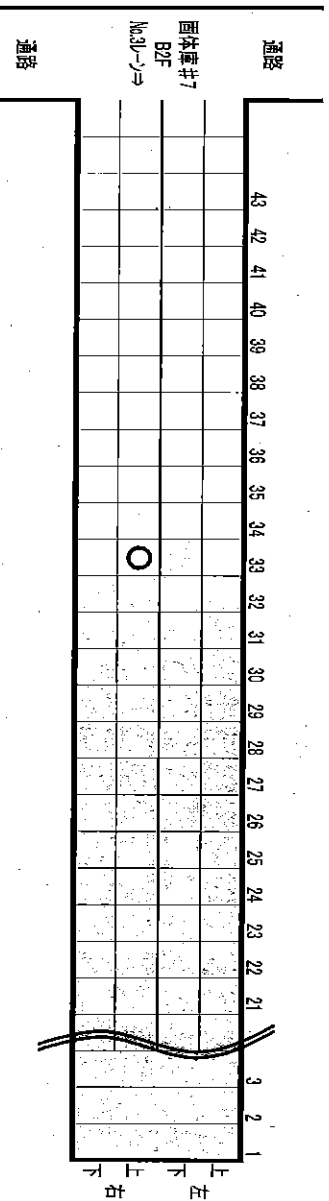


写真

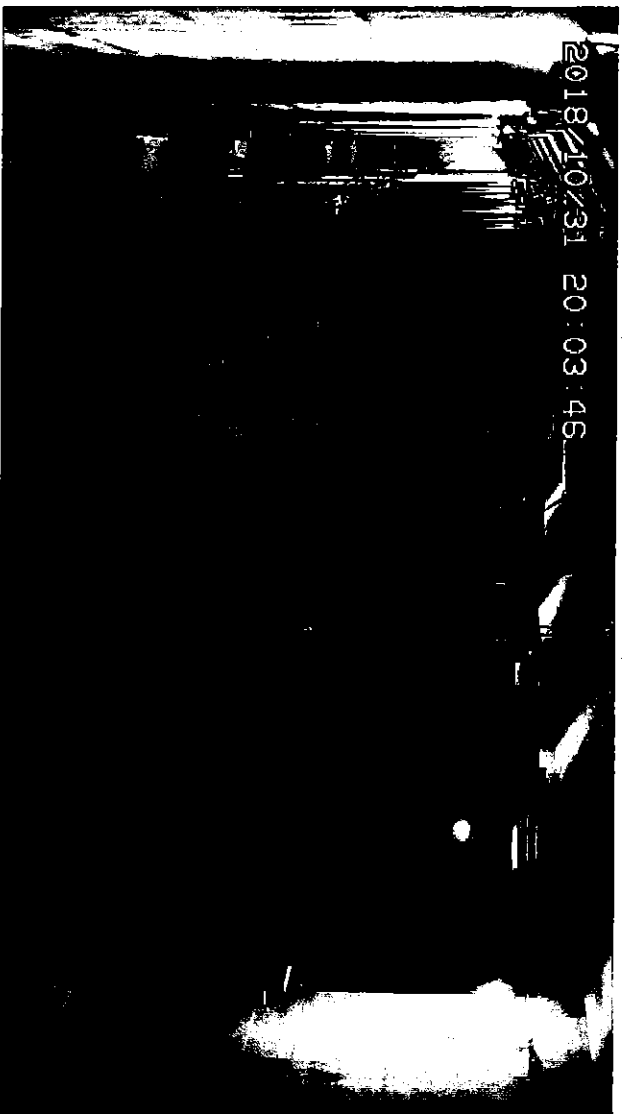


固体庫内コンテナ配置表

一時保管日時	2018年10月31日(水)	
運搬ID	4772	備考
コンテナ番号	2018ZK-01706	可燃・不燃・難燃
解体場所	2号機R/B	α汚染有
現場サーベイ時線量	- mSv/h	
現場サーベイ時周辺線量	- mSv/h	
	- mSv/h	
	- mSv/h	
表面線量率	0.05 mSv/h	
重量	2.10 t	
配置場所	7-3-33 -右上	



写真



20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7.0	6.0	5.0	4	3	2	1	
2561	2553	2545	2538	2530	2525	2521	2517													上
2560	2552	2541	2536	2529	2523	2520	2516	2495	2494	2493	2492	2488	2487	2486	2485	2484	2483	2482	2481	下
2563	2559	2547	2540	2535	2528	2522	2519													上
2534	2555	2546	2539	2534	2527	2411	2518													下

通路	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	
固体庫#7													4770	4760	4747	4737	4706	4697	4693	2643	2639	2612	2596	2575	2571	2567	上
B2F													4763	4753	4746	4736	4705	4696	4692	2642	2638	2602	2587	2574	2570	2566	下
No.3レーン⇒													4772	4762	4752	4740	4735	4704	4695	2648	2641	2637	2601	2586	2573	2569	上
通路													4771	4761	4748	4739	4707	4698	4694	2644	2640	2634	2597	2576	2572	2568	下

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013111 - 0005																														
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年10月15日		(月)	18:30		承認	審査	作成																														
	作業件名		1F 凍土壁表層対策工事																																					
	発生場所		1号機西側(GJ-22 北西)						2018/10/4	2018/10/4	2018/10/4																													
	作業主管G		地下水調査グループ				監理員	TEL																																
	元請会社						担当者	TEL																																
	線量測定年月日		2018/9/25		測定者			測定器名	ICW																															
								管理番号	F1-ICW-360																															
	No.		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																														
	1		B	04	D	A	3 m ²	0.2 mSv/h	3 mSv/h	無																														
	2						m ²																																	
3						m ²																																		
4						m ²																																		
5						m ²																																		
固体庫運搬																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th>管理番号</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											線量測定内容					測定日	氏名	測定器	管理番号		1					2					3					4				
線量測定内容																																								
測定日	氏名	測定器	管理番号																																					
1																																								
2																																								
3																																								
4																																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																												
									m ²																															
									m ²																															
									m ²																															
									m ²																															
									m ²																															
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																								
運 搬 中 止																																								
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—																											
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—																											
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類																											
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他																											
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—																											
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—																											
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—																											
		D	伐採木																																					
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0005

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年10月15日		(月)	18:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 凍土壁表層対策工事								
	発生場所	1~4号機周辺(GJ-22 北西)					2018/10/15	2018/10/15	2018/10/15	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/9/25	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-360		
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	土砂類	B	04	D	A	0 m ²	0.2 mSv/h	3 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
5						m ²				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	10	—	0099
				2018/10/15
調整後保管日時		2018年10月15日		18:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

運 搬 中 止

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。